講義名	19～フランス語Ⅰ/15～フランス語入門★				
担当教員	田村 弘行				
開講期・曜日・時限	後期 金曜日 ４時限			授業形態	講義
履修開始年次	１年生	単位数	2	備考	

主題と概要

フランス語とはどのような言語か、その特徴を知り、またことばを手掛かりにフランス文化の一端を知る。フランス語の発音、アクセント、イントネーションの特徴などがわかるようになる。フランス語の基本的な文法を身につける。
フランス語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育みます。またフランス文化の一端を知ることで、日本との違いを知り、創造力（新しい視点と豊かな発想)を持った人材の育成を目指します。

到達目標

フランス語の発音ができ、かんたんな挨拶ができる

フランス語の初歩的な表現で下記のようなことが言えるようになる

・カフェやパン屋で注文することができるようになる
・レストランで注文できるようになる
・簡単な買い物の会話ができるようになる
・好きなものを言える・聞けるようになる
・名前・職業・国籍を言うことができるようになる
・住んでいるところが言えるようになる
・持ち物を言うことができるようになる
・誰？何？などの質問ができるようになる

提出課題

授業時に毎回課題を与えます。
moodleを通して、選択問題、聞き取り問題、WORDによる問題などを解答して提出してもらいます。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック

頻繁に、moodleの小テストを実施し、正答・誤答・正解をPC上で確認できます。それ以外のテストに関しても採点し返却し、解説します。
システム会議でテストする可能性もあります。

評価の基準

毎回の授業でmoodleなどの小テストおよび授業中の態度50%
中間テストと期末テスト50%
これらを総合して評価

履修にあたっての注意・助言他

・語学は積み重ねなので、できる限り出席すること。 moodleを必ずチェックし、次回までの宿題をしてくること。また次回の小テスト準備をすること。
・授業で学習したことを授業外でも遊びでよいから使ってみよう。私と会った時にフランス語で挨拶してみるのもいいだろう。
・NHKの語学講座・フランス映画・フレンチポップスなどを積極的に視聴すること。

教科書

.使用しない.				

プリント資料及び参考文献

授業時に適宜プリント配布

授業計画

1 フランス語の発音・かんたんな挨拶
2 フランス語のアルファベ
3 性の区別
4 不定冠詞、カフェで注文
5 リエゾン、アンシェヌマン、レストランでの会話１
6 定冠詞、好き嫌いを言う、買い物での表現
7 部分冠詞、動詞 être レストランでの会話２
8 中間のまとめ
9 レストランでの会話３
10 動詞 être を用いた表現
11 買い物の表現
12 avoir を用いた表現
13 映画館、美術館での会話
14 第１群規則動詞 自己紹介の表現
15 まとめ、期末テスト練習問題

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション	○	カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

moodleを用いて授業をします。授業の終わりに宿題等を指示します。

・配布した教材（Wordデータ、PowerPointデータおよび音声データなど）を利用して、内容を理解、記憶し復習
・・1.5時間程度
・何度も問題を繰り返し、次回の小テストの準備をすること。・・1時間程度
・次回進む箇所を辞書などを用いて予習・・1.5時間程度

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

フランス語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育みます。またフランス文化の一端を知ることで、日本との違いを知り、創造力（新しい視点と豊かな発想)を持った人材の育成を目指します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

moodleというシステムを使用し、PCまたは携帯で、授業の予習、発音のチェック、語彙や動詞活用を覚える、テストの準備などの活動をします。欠席した場合は、その日の授業内容を確認できます。メール、moodleなどを利用し、疑問点などを質問できます。

実務経験の有無及び活用

備考

新型コロナウイルス感染症の状況によっては、シラバスの修正がある場合があります。